

# オー0157を

腸管出血性大腸菌

# 予防 しましょう



おあがりス  
京都市食の安全安心  
啓発キャラクター

菌をやっつける!

家に帰ったとき 食事の前  
トイレの後 調理の前

セッケンで手を  
よく洗いましょう!

## 食中毒予防の三原則

- ① 菌をつけない
- ② 菌をふやさない
- ③ 菌をやっつける

## オー0157って何?

大腸菌は動物や人の腸の中に住んでいますが、ほとんどの場合は害はありません。しかし、中には**下痢**や**腹痛**など人に害を及ぼすものもあり、これを病原性大腸菌と呼んでいます。

中でも、ペロ毒素という毒を作り出し、出血を伴う下痢の原因となるものは、**腸管出血性大腸菌**と呼ばれています。その代表的なものが**0157**で、そのほかに**026**、**0111**などがあります。患者からの感染のほかに、肉を加熱不十分な状態で食べたことによる感染も多く見られます。

## 0157の特徴

### 1. 強い感染力

0157はごくわずかな菌量でも感染します。特に、乳幼児や高齢者には注意が必要です。

### 2. 強い毒性

0157は増えるときに、ペロ毒素を産生します。これにより合併症などを引き起こし、重症化する場合があります。

### 3. 潜伏期間

0157の潜伏期間は平均3～5日と長く、食中毒の原因とわかりにくいので、感染が広まる危険があります。

# O157などに感染したときは？

## ■手洗い方法

- ①セッケンで汚れをよく洗い流す。
- ②手洗い用消毒剤(アルコール、逆性セッケンなど)で消毒する。

## もし、感染したら…

- 発熱、嘔吐、出血を伴う下痢等、O157などの感染が疑われる症状が見られたら、すぐに医療機関で受診しましょう。
- O157などは感染力が強いので、二次感染に注意しましょう。  
排便した後は十分な手洗いや消毒を行い、また、同じお風呂のお湯を使わないようにしましょう。
- トイレに行った後、食事の前などに、手洗いをしっかり行いましょう。
- 患者の糞便等で汚染された衣服などは、煮沸したり、消毒薬で消毒した後に、家族のものとは別に洗濯して、天日で十分乾かしてください。



## どのようにして感染するの？

### O157などは菌が口から入ることで感染します(経口感染)。

1 菌に汚染された食べ物や水などを介して感染します。

2 人から人への二次感染があります。  
例えば、感染した人の使ったタオルやお風呂のお湯、トイレのドアノブなどを介してほかの人に感染します。

## O157などの感染を防ぐには？

- 1 食品は中心部まで十分加熱(75℃・1分以上)しましょう。
- 2 焼肉やバーベキューをするときは、生肉を扱う箸と食べる箸を区別しましょう。
- 3 食事を作ったり、食べる前には必ずセッケンを使い、よく手を洗う習慣をつけましょう。

## お問合せ先

### 医療衛生センター

京都市中京区御池通高倉西入高宮町200番地  
千代田生命京都御池ビル2階、6階

	TEL	FAX
* 北東部方面 (北区, 上京区, 左京区, 東山区)	746-7211	251-7236
* 中部方面 (中京区, 下京区)	746-7212	
* 南東部方面 (山科区, 南区, 伏見区)	746-7213	251-7234
* 西部方面 (右京区, 西京区)	746-7214	
* 感染症対策担当	746-7200	251-7233